



12月11日(火)

痛 い っ ! 傷 つ い た

聖書朗読 ヨブ記 19:14~19

ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。

I ペテロ 2:23

裏切りは痛みを与えます。ヨブの友人、親戚、知人など、みんなが彼から去って行ったときのヨブの痛みと苦悩がわかります。聖書には、イエス様を含めて裏切られた人たちの例や、ユダを含めてイエス様にひどいことをした人たちの例がたくさん書かれています。

過去に経験した悪い体験のせいで、人をなかなか信頼できないということはありませんか？たとえば、配偶者や親からほったらかしにされたとか、親友や同僚から嫉妬されて無視されるようになったとか、契約した業者の人が、依頼したことをあなたの家や車にやってくれているとばかり思っていたのに、何もしてくれていなくて、お金を騙し取られたとか、ビジネスパートナーにお金を持ち逃げされたとか。大半の人は、ある意味で誰かに騙されたり、裏切られたりした経験があると思います。

私たちが誰かに裏切られたとき、自分が強くなることを求めて、神様にお祈りすることを神様は望んでいらっしゃいます。神様は、私たちが相手を許し、苦痛を克服するのを助けてくださいます。人生で起こった困難は、ときとして、私たちが神様に近づけることがあります。聖書にある例を見てみましょう。ヨブの信仰が試されたことや、ユダの裏切りは神様のご計画の一部であることをイエス様はご存知でいらっしゃったことが、聖書には書かれています。私たちは常に神様をご信頼することができることを覚えることで、心安らかでいられます。『わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。』(ヘブル13:5)と、神様は私たちに約束してくださっています。

讃美歌 316

祈り 御在天のお父様。人が私にひどいことをしたとき、強さを与えてください。相手を許し、仕返しを求めないように助けてください。イエス様に倣う人生を歩めるように、私たちに導いてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジェーン・ポー・マッシー  
テキサス州 ヒューストン

12月12日(水)

絶望している人にこそ真の希望がある

聖書朗読 ヨブ記 17章

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるのです。

ヘブル 11:1

残酷なくらいとことん正直になってみましょう。1度や2度はそういうときがあるものです。病室で、葬儀場で、居間で、あるいは教会でさえも、悲しみと落胆に圧倒され、押しつぶされそうになることがあります。

人生って、本当にいいものですか？ 診断結果がよくなかったり、結婚に失敗したり、失業したとき、もはや望みがないように思います。「死んでしまいたい」と思いますし、いっそ死んだ方がラクになれるようにさえ思えます。

イエス様さえも、遠い存在に思えたりします。信じたいのですが、あまりに絶望すると、希望を見出すことがとても難しくなります。イエス様を信じてはいるのですが、事態は少しもよくなるように思うのです。パウロでさえ、『もし、私たちがこの世にあってキリストに単なる希望を置いているだけなら、私たちは、すべての人の中で一番哀れな者です。』(Iコリント 15:19)と認めています。

しかし・・・、それがまさに私たちが信じている理由なのです。なぜなら、私たちは、自力ではなにひとつ良くすることができないからです。というのは、私たちは墮落した世界に住んでいるからです。

だから、イエス様に従う者として、私たち望んでいる事がらが何であるのかを確かにして、この世の中では見ることができないことを確信しています。良くなっていきます。この世は私たちの終点ではありませんし、わが家でもありません。イエス様が私たちの罪のために死んでくださったこと、そして死からよみがえられたことを、私たちは信じています。それこそが、私たちがイエスさまに置いている希望であり、イエス様を信じている理由です。そして、それがすべてを変えるのです。

讃美歌 309

祈り お父様。望みもなく、自分の力ではどうすることもできない世の中にあっても。私たちは絶望に陥らず、唯一あなたと御子をご信頼します。

イエス様の御名において。アーメン。

ステイーブ・リッジエル  
テキサス州 アビリン

12月13日 (木)

## 罪が人を惑わす方法

聖書朗読 詩篇 1編

「きょう」と言われている間に、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされてかたくなにならないようにしなさい。  
ヘブル 3:13

罪というものは、本来の姿で近づいてくるものではありません。ユダがにせ教師たちについて警告した手紙の中で、彼はこのような人たちが『ひそかに忍び込んで来た』と書いています(ユダ 4節)。また、イエス様はにせ預言者のことを『彼らは羊のなりをしてやって来る』とおっしゃっています(マタイ 7:15)。パウロは『サタンでさえ光の御使いに変装するのです』(Ⅱコリント 11:14)と言いました。これらすべては、『悪魔の策略』(エペソ 6:11)を警戒するようにとの警告です。

詩篇第1編には、罪がどのように働くかについて興味深い例を記しています。『辛いことよ。悪者のはかりごとには歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかつた、その人。』最初の歩みで罪に負けてしまった人は、罪人の道に立ち、最後にはあざける者の座に着きます。過去の罪のうちは歩み続ける限り、その人はまだ罪の罠にかかってはいないかもしれません。でも第二段階になると、彼はもう歩かず、立ち尽くして明白な光景を目にします。そして、ついには座り込みます。彼はすべてに関わってしまったのです。それはいつぱいには起きません。最初に罪の道を歩き、次に罪の道に立ち、最後にそこに座り込みます。罪に負けてしまうというのは、段階を経て徐々に起きることなのかもしれません。最初の小さな一歩が問題なのです。『悪はどんな悪でも避けなさい。』(Ⅰテサロニケ 5:22)という、私たちを助けてくれる神様の警告があります。

讚美歌 493

祈り 御在天のお父様。罪を警戒するように助けてください。私たちの人生を、イエス様という完璧なお手本にすることができるよう。  
イエス様の御名において。アーメン。

アラン・E・ハイヤーズ  
テネシー州 ヘンダーソン

12月14日 (金)

## フェアじゃない!

聖書朗読 詩篇 10:1~11

悪者は偽りの報酬を得るが、義を蒔く者は確かな賃金を得る。 箴言 11:18

アメリカのプロ野球選手であるレオ・ドローチャーはブルックリン・ドジャースの監督時代、「いい奴ほど、いつもビリになる」と語ったと言います。1947年の事です。私はこの言葉は正しくないと思っていますが、いい人間が苦しむときもあるでしょう。しかし、映画の中でもヒーローは最初苦しみもがき、悩みを抱えています。最後には悪を打倒し勝利します。観察眼に優れた探偵も、最後には無実を証明し、真犯人を見つけ出します。心優しい少年は自分勝手な恋のライバルを打倒し、彼女のハートをゲットします。最後に正義は勝ち、正しい世界が訪れるのです。

残念なことに現実はそのようではありません。ダビデも神に『あなたは遠く離れてお立ちなのですか』

と訴えています。悪が蔓延っている時、神はその場にはいないように見えてしまいます。

神は正しい人にもそうでない人にも平等に太陽の光を与えてくださいますし、神を信じる者たちにも試練を与えます。しかし、神はすぐそばに立っておられるのです。悪者の成功や自分の人生の浮き沈みによって神様が遠くにいるなんて判断しないでください。神様は信じる者を最後には勝者とし、永遠の命を授けてくれます。聖霊を通じて私たちを助け、慰めてくださいます。神の子どもとして生きる喜びを忘れ、この世界に幻滅しないでください。誠実に生き、神を信じることに自信を持つのです。

讚美歌 第二編 164

祈り 愛する神様。あなたからの愛を、恵みを私たちが正しく理解できるようにしてください。あなたが義と愛の唯一の神であるとどんな時も信じられるようにしてください。アーメン。

ケビン・B・レイチェル  
テネシー州 ナッシュビル

12月15日 (土)

## いつも恵みを与えるてくれる神様

聖書朗読 詩篇 13 : 1~6

ああ、私に、生ける者の地で主のいつくしみを見ることが信じられなかったなら—  
詩篇 27 : 13

挨拶というのは考えてみると非常に興味深く感じます。「ご機嫌いかが」と聞かれたらまず間違いなく「いい気分だよ」と答えるでしょう。しかしオリジナルの返答を私は好んで使っています。「私にはもったいないほどいい気分だ」、「2人分の幸せだよ」、「今までにないほど調子がいい」などです。私の所属している教会の長老はいつも「今日も神様がいてくださる」と答えています。ダビデは詩篇で『主が私を豊かにあしらわれたゆえ。』と言っています。

イギリスの教育哲学者ウィリアム・アーサー・ワードの数ある名言の一つに「喜んでいながら笑顔を見せないのは、贈り物を包み紙で包んでおきながらそれを誰にも渡さないようなものだ」というものがあります。私は毎日のディボーションの時間に「神様こんなことができました。感謝します」と書いて、その下に心に浮かんできた様々な恵みを書いています。神様が私を誰よりも愛してくれていることを覚えると筆が止まることはありません。

日々、神の恵みに気が付けていない人を目にするたびに私はなんて神に愛され、支えられているかを再確認します。「感謝は十分以上のものをあたえる」という言葉は真実です！

讃美歌 267

祈り すべてを創ってくださった神様。今日も私と共にいてくださり、守ってくださったこと感謝いたします。

日々の恵みに感謝いたします。アーメン。

ボブ・マイズ  
テキサス州 ラボック

12月16日(日)

## どこにでもあるちりよ！

聖書朗読 詩篇 32 : 1~5

「私のそむきの罪を主に告白しよう。」

詩篇 32 : 5

皆さんは「あなたはちりだから、ちりに帰らなければならない」という聖句に関わる小話を聞いたことがありますか？ お母さんからこの話を聞いた女の子がベットの下を確認し「ちりが人ならベットの下はいろんな人がいると思ったけど、いるかどうかわからなかったわ。我が家なら彼女はたかさんの「人」を見つけることができるでしょう。

ちりというのはいつでもしつこく湧いてくるものです。注意深くしっかりと掃除すれば簡単に払うことができますが、無視してしまった場合あらゆるものの上に降り積もり掃除することが大変難しくなります。私がちりに完全勝利することは未来永劫ないでしょう。

こういう所がちりと罪とが類似している部分だと思えます。私単独の努力ではちりも罪もどちらも打ち破ることは決してできません。しかし、ちりとは違って罪には効果てきめんな対応法があるのです。罪が私たちの人生にこっそりと忍び寄ったとしても、キリストならばそれを取り除くことができ、罪が持つすべての影響を取り去ることが出来るのです。

私たち人類がすべき全ての罪の贖いは、キリストが代わりにしてくださったのです。全力で私たちに尽くしてくださり、神の偉大さ、栄光を世に示されました。私たちがしなくてはならない事とは神の計り知れない恵みを謙虚に望み、謹んで受け入れることだけなのです。ひざまづいたとき、私はただキリストに立ち返り、赦しの恵みを受け入れるだけでよいのです。ハレルヤ！！

讃美歌 514

祈り 天にいます父よ。あなたの御名を賛美します。あなたが私を常に受け止めてくださり、清めてくださることをいつでも覚えていられるようにしてください。

イエス・キリストの聖名を通してこの祈りを捧げます。アーメン。

ノーマ・プリヴィット  
カリフォルニア州 サウザンドオークス